

[成果情報名] 水稲奨励品種「きぬむすめ」の栽培法

[要 約] 「きぬむすめ」の収穫適期は帯緑籾歩合が 10%程度の時期であり、施肥量は窒素成分で 9 kg/10a が望ましい。疎植栽培による収量の低下は認められないが、11.1 株/m²で玄米外観品質が低下する。

[キーワード] 水稲、きぬむすめ、施肥量、収穫適期、栽植密度

[担 当] 静岡農林技研・作物科

[連絡先] 電話 0538-36-1558、電子メール agrisakumotsu@pref.shizuoka.lg.jp

[区 分] 水田・畑作物

[分 類] 技術・普及

[背景・ねらい]

水稲奨励品種候補となった中生熟期の良食味米品種「きぬむすめ」の栽培法を明らかにし、速やかな普及面積拡大とブランド米としての地位確立を図る。

[成果の内容・特徴]

- 1 「きぬむすめ」の収穫適期は帯緑籾歩合が 10%程度の時期である（図 1）。
- 2 「きぬむすめ」の適正施肥量は窒素成分で 9 kg/10a であり、少ないと収量が低下し、多いと玄米タンパク質含量が増加する。（表 1）。
- 3 「きぬむすめ」は疎植栽培による収量の低下は認められないが、栽植密度 11.1 株/m²で玄米外観品質が低下する（表 2）。
- 4 「きぬむすめ」の耐穂発芽性は「キヌヒカリ」に優る（図表略）。

[成果の活用面・留意点]

- 1 平成 23 年の結果である。
- 2 地力のやや低い沖積埴壌土で試験を行った。

[具体的データ]

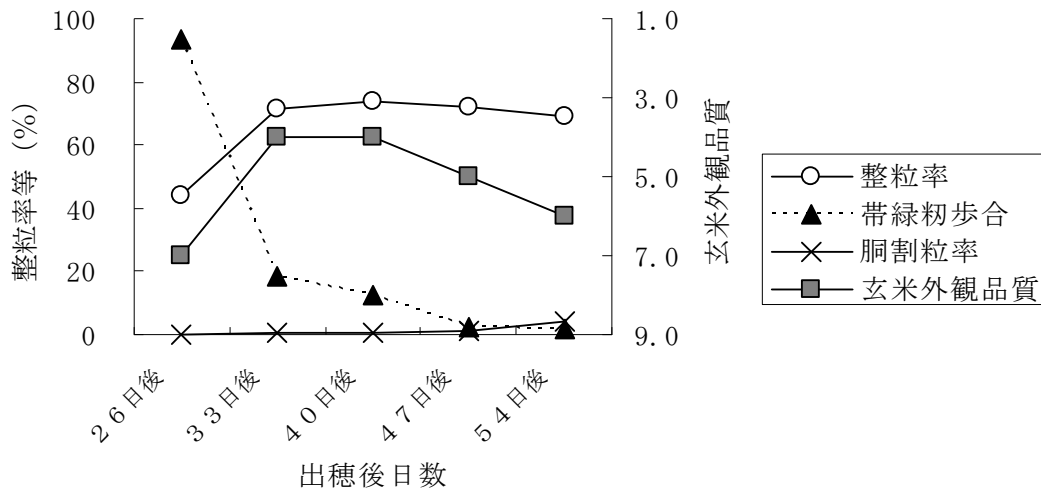


図1 「きぬむすめ」の収穫適期

注) 玄米外観品質は1 (上上) から9 (下下) の9段階評価
 整粒率、胴割粒率はS社製品質判定機で調査した

表1 「きぬむすめ」の施肥量と生育、収量、品質

試験区	稈長	穂長	穂数	倒伏 ³⁾ 程度	精玄米重	玄米 ⁴⁾ 外観品質	玄米タンパク質 ⁵⁾ 含量
	cm	cm	本/m ²		kg/a		%
6kg/10a	79	c 15.7	b ²⁾ 324	b 1.0	45.6	b 4.0	6.8
9kg/10a	81	b 16.3	a b 356	a 2.3	50.4	a b 4.0	6.9
12kg/10a	85	a b 16.4	a 369	a 3.0	54.1	a 4.0	7.2
15kg/10a	90	a 16.3	a 387	a 4.7	57.2	a 4.7	7.4
分散分析 ¹⁾	*	*	*	-	*	-	**

- 1) 分散分析は* : 危険率5%、** : 危険率1%で有意差あり、NS : 有意差なしを示す
- 2) Tukeyによる多重検定、同列異符号間に危険率5%水準で有意差ありを示す
- 3) 倒伏程度は無(0)から甚(5)の6段階評価
- 4) 玄米外観品質は上上(1)から下下(9)の9段階評価
- 5) 玄米タンパク質含量はS社製近赤外分析計で測定した

表2 「きぬむすめ」の栽植密度と収量、品質

試験区	稈長	穂長	穂数	倒伏 ³⁾ 程度	精玄米重	千粒重	玄米 ⁴⁾ 外観品質
栽植密度 / m ²	cm	cm	本/m ²		kg/a	g	
18.5株 (慣行)	90	17.6	a b ²⁾ 331	4.0	55.4	21.7	4.0
16.7株	90	17.2	b 321	4.5	57.8	22.2	4.0
11.1株	91	17.9	a 306	4.0	55.4	21.6	5.0
分散分析 ¹⁾	NS	*	-	-	NS	-	-

- 1) 分散分析は*、** : 危険率、5%、1%で有意差あり、NS : 有意差なしを示す
- 2) Tukeyによる多重検定、同列異符号間に危険率5%水準で有意差ありを示す
- 3) 倒伏程度は無(0)から甚(5)の6段階評価
- 4) 玄米外観品質は上上(1)から下下(9)の9段階評価

[その他]

研究課題名 : 水稻・畑作物優良品種決定試験
 予算区分 : 県単
 研究期間 : 2011年度
 研究担当者 : 石田義樹、外山祐介